

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2026年5月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	国際日本学部
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2026年5月10日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ネブラスカ大学オマハ校(日本語名) University of Nebraska at Omaha(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	English/
留学期間	2025年8月～2026年5月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月～12月 2 学期: 1月～5月 3 学期: 4 学期:
学生数	15000人
創立年	1908年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ドル) (1 現地通貨 = 156 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	7600	0 円	
食費	1440	0 円	
図書費	200	0 円	
学用品費	0	円	
携帯・インターネット費	120	円	
現地交通費		0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	742	円	
旅費(留学中)	1500	0 円	
被服費	0	円	
医療費	300	円	
保険費	600	円	形態:
渡航旅費	1500	円	
ビザ申請費	100	円	
雑費	0	円	
その他	0	円	
その他	0	円	
合計 ※現地通貨 および 円	14102 (=2200000 円)	0 円	
総計(A+B) ※円		2,200,000 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連

渡航経路

往路 出発地：成田 目的地：エプリー飛行場 経由地：デンバー空港

復路 出発地：エプリー飛行場 目的地：成田 経由地：ロサンゼルス空港、デンバー空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合

航空会社：

料金：

② 片道ずつチケットを購入した場合

往路 航空会社： ユナイテッド航空 料金： 100000

復路 航空会社： ユナイテッド航空 料金： 100000 ∴合計： 200000

航空券購入方法

旅行代理店(店名：)

インターネット(サイト名： ユナイテッド航空 HP)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)

学生寮(寮の名前： ユニバーシティビレッジ) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数 4)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法：

大学から送られたメールから

5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所: 大学の診療所)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

平和だった

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮、大学はWIFIがあった

基本ネットはつながっていた。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

Wiseというオンラインバンクで管理していた。学費払うときは銀行からのほうが安い。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えて下さい。

基本調達できる。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
24	単位	<input checked="" type="checkbox"/> 24 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Intergroup Dialogue		異文化間対話
科目設置学部・研究科	Communication Study	
履修期間	2025 Fall(8-12)	
単位数	3	
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 160 分が 1 回	
担当教授	Dr.H	
授業内容	異なる人種や背景を持った人たちとお互いの理解を深めていく	
試験・課題等	週一回のリフレクションと学期末レポート	
感想を自由記入	他の人には聞けない黒人や白人の苦労話や、人種が絡んだ経験、考え方を知れてよい経験だった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Composition1	1 英語作文
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2025 fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Mr.Sean
授業内容	英語を使った分の構成、表現方法を学ぶ。
試験・課題等	時々作文を書き、学期末はレポートを書く。
感想を自由記入	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Etchics	倫理学入門
科目設置学部・研究科	Philosophy
履修期間	2025Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr.Laura
授業内容	西洋の重要な哲学者たちの倫理理論に含まれる基本的な道徳概念と問題点に関する批判的研究: 相対主義、利己主義、幸福、義務、正義、自由、良心、愛、宗教的戒律、道徳規範、道徳的態度、道徳言語。
試験・課題等	学期に 4 回のテスト
感想を自由記入	ディスカッションメインなので、哲学について知れるとともに、英語の実践的な練習になる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intro to Susutainability	持続可能社会学の入門
科目設置学部・研究科	Sustainability
履修期間	2025 Fall
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr. Farrah
授業内容	環境科学、人文科学、社会科学を統合し、地球のシステムと人間がそれらに与える影響を理解し、これらのシステムとの物理的・倫理的なつながりを尊重し、持続可能な未来のための実行可能な政策を策定することを目的としています
試験・課題等	学期末に自分の考える持続可能な町をプレゼンする
感想を自由記入	フィールドワークもあり、1 年次用の授業なので、楽しく基礎を学んでいく授業だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Small Group	スモールグループ
科目設置学部・研究科	Communication
履修期間	2026 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	
授業内容	小グループ環境におけるコミュニケーションとリーダーシップの理論と実践への入門です。小グループにおけるコミュニケーションプロセスに関する幅広い知識を習得できます。
試験・課題等	学期末レポートと時々あるリフレクション
感想を自由記入	少人数のグループを組んで活動していくので、友達が欲しかったり、コミュニケーションを学術的に学べる。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Meaning of Life	人生の意味
科目設置学部・研究科	哲学
履修期間	2026 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr.Kevin
授業内容	まず、哲学と映画がこの探求にどのように役立つかを考察します。次に、教育、歴史、愛、テクノロジー、自己同一性、死という、個人と集団の生活の中心となる 6 つの具体的なテーマを分析します。これらの分野に批判的に向き合うことで、人生を意味のある良いものにすることは何かという問いに対する答えを評価するために必要なツールを身につけることができます。
試験・課題等	二週に一回のリフレクションと学期末のレポート
感想を自由記入	前学期の哲学が面白かったので取ったが、内容はあまりいいものではなかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Comtemporal Moral Problem	現代倫理問題
科目設置学部・研究科	哲学
履修期間	2026 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Dr.Melanson
授業内容	市民的対話に参加するためのスキルと視点の育成に焦点を当てます。幅広い倫理的・道徳的問題を探求しながら、相互理解を促進する形で、議論の的となる問題について議論します。
試験・課題等	学期内に計 4 回のテストがあります。
感想を自由記入	難易度はとても難しいけど、授業はとても面白く、教授も生徒へのサポートを惜しまない人だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Psychology	心理学入門
科目設置学部・研究科	Psychology
履修期間	2026 Spring
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 3 回
担当教授	Dr.Steffi
授業内容	人間の心と行動に関する科学的理解の概要、そして私たちがどのように考え、感じ、行動するのかを説明する理論と実証的検証について学びます
試験・課題等	毎週のミニクイズと計 4 回のテスト
感想を自由記入	心理学というよりかは脳の機能について学ぶことが多かったが、いろいろな知識を得ることはできた。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	英語勉強
	8月～9月	IELTS 受験
	10月～12月	留学応募 面接
留学開始年	1月～3月	留学書類準備
	4月～7月	ビザ取得 留学準備
	8月～9月	渡航
	10月～12月	予防接種 留学秋学期
留学/帰国年	1月～3月	留学春学期開始
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

ここは第一志望ではなかったけれども、ネブラスカ大学オマハ校に留学をしたことには一切の悔いはない。白人がメインではあったけれども、あからさまな差別は経験していないし、大学内には様々な人種の人と出会えた。人種ごとにグループが決まっていることが大半であったけれども自らかかわっていけば自ずと色々な人と友達になることはできるし、いまだに連絡をみんなと取り合っている。留学生はキリスト教が主催しているインターナショナルコミュニティが近くにあるので、友達が欲しければそこに行くことをお勧めする。そこは大学内のコミュニティではないけれども、みんなフレンドリーで良い人ばかり。大学内にもいろいろなサークル的なものもあるので入ることも良い選択だと思う。最初から英語に囲まれることに抵抗はあるかもしれないけれども、楽しく実りのあるものにするのならば挑戦するのが一番いい。休みの時はみんなで集まってパーティーをしたり、スポーツをしたり、長期休みならば車でドライブしたり、スキーに行ったりした。田舎地域に留学したおかげで、数少ないアメリカ独自の文化にも触れる事が出来たので良かった(少し遠くに行けばカウボーイはっとピストルもって馬に乗った人も会える)。日本人も学年ごとに数人いるので、困ったら助けてもらえるし、生活が厳しいものになることはないと思う。持って行くものに関しては、お気に入りの食べ物やドレスングなどがあれば持って行った方がいい、ネブラスカにもアジアスーパーはあるが高いし、物は良いものではない。